

不登校、発達障害の高校生がトーク番組 FM放送で発信

不登校の経験や発達障害がある京都府舞鶴市内の高校生が自分たちの気持ちや考えを発信しようと、10月から同市のコミュニティーFMでトーク番組を担当している。教育やいじめ、学校生活などがテーマでメンバーは「悩みやつらさを抱えている同世代に聞いてほしい」と話している。

FMまいづるの「10代のトビラ」。通信高校1年ペタイムさん（16）がパーソナリティー、定時制高校1年セツナさん（15）、通信制高校1年モトヒロさん（16）、中学2年リョウさん（14）の3人がレギュラーを務める。4人は友人同士で、ペタイムさんが今夏にFMまいづるのパーソナリティー講座を受講した際、自分の発達障害についてラジオで話す企画を提案したのがきっかけで番組が実現した。



番組でいじめや教育、学校などについて語り合うメンバー（京都府舞鶴市円満寺・FMまいづるスタジオ）

これまでの放送では、メンバーが自己紹介し、テーマパークのダンサーになる夢や、不登校や学級崩壊の経験を通して現在の教育や学校を変えたいという思いをそれぞれ語った。このほど流された放送では各自がいじめの経験を話し、どのように向き合うか意見を交わした。

ペタイムさんは「時間や会話の配分が難しいが、不登校や発達障害の当事者たちが自分の声で伝えることで少しでも考えや思いを理解してもらいたい」と話している。

毎週金曜午後8時15分から15分間（再放送は毎週土曜午後9時15分）。過去の放送はFMまいづるのホームページで聞くことができる。

【2018年10月29日 19時10分】

Copyright (c) 1996-2018 The Kyoto Shimbun Co.,Ltd. All rights reserved.

各ページの記事・写真は転用を禁じます。著作権は京都新聞社ならびに一部共同通信社に帰属します

[ネットワーク上の著作権について](#) [新聞・通信社が発信する情報をご利用の皆様](#)に(日本新聞協会)

[電子メディアおよび関連事業における個人情報の取り扱いについて](#)